

MiniWAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.197)

三河港湾事務所だより



2024年1月号

今月1日、令和6年能登半島地震が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された全ての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、当事務所では、中部地域のものづくり産業を物流面から支える強靱な港湾を目指し、三河港・衣浦港の整備と中山水道航路の管理・保全を担当しております。企業活動を安定的に下支えし、また、更なる発展に繋げるためには、ハード・ソフト一体となった施策を展開する必要があります。

引き続き地域の皆様とともに、強靱な港づくりに邁進してまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

北陸地方へTEC-FORCEを派遣

中部地方整備局は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震が発生したことを受け、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）を派遣しています。

港湾空港部では被災した港の被害状況の調査や支援物資の輸送等を行いました。

支援状況等の情報は中部地方整備局HPにて公開されています。

【中部地方整備局 災害対策本部情報】

<https://www.cbr.mlit.go.jp/saigai/NEWS/MAIN/honbu.htm>



〈被害状況調査の様子〉



滝港



七尾港

中部地方整備局 災害対策本部情報より引用

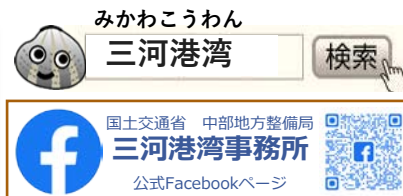
※緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）

大規模な自然災害時に、被害状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧などに取り組み地方公共団体を支援することを目的としています。

三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>

三河港湾事務所公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>





三河港紹介 その2



三河港は三河湾の東側湾奥部に位置し、港湾区域として周囲約80km、水域面積約132km²（全国8位）を有する港です。日本のほぼ中央に位置することから、全国に向けた物流の結節点として優れており、中部地域の基盤を成す産業である自動車を中心とした「ものづくり」を支える物流拠点となっています。

「ものづくりの中部」を支える三河港の御津地区、大塚地区、蒲郡地区について紹介します。



愛知県提供

蒲郡地区

三河港の西側に位置しており、完成自動車の輸出を中心に背後圏の産業を支えています。

三河港のクルーズ船等の受入拠点にもなっており、竹島周辺等は海洋レジャーゾーンとして、地域形成が進められています。また、「生命の海科学館」やバリアフリーポンツーン「マンボウ」等で構成する「みなとオアシス」に位置付けられており、賑わいの拠点にもなっています。



寄港した砕氷船「しらせ」

大塚地区

多彩なアトラクションやプールが楽しめるテーマパーク「ラグナシア」や巨大アスレチックパーク「変な森」などがある複合施設「ラグーナテンボス」や中部地方で最大規模の雄大な海でマリネレジャーが体験できる「ラグナマリーナ」や「豊田自動織機海洋ヨットハーバー」など、多様なレジャー施設を有しており、海洋レクリエーションの一大拠点となっている地区です。



ラグナマリーナ

御津地区

三河港の中央部に位置し、東名高速道路や国道23号へのアクセスが良く、広大な企業用地には、多くの製造業や運送業が立地しており、生産・物流拠点として重要な役割を担っています。

また、地震が発生した際に臨海地区にいる人々の安全を確保するための高台や避難誘導装置「のろしグナル」も整備されています。



愛知県提供

御津地区

※「三河港紹介 その1」はMini-WAN2023年5月号で掲載しています。

Mini-WAN5月号：https://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/file/2023_05.pdf



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おおいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※ 9:00~12:00と13:00~17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>